

データあり
令和6年3月15日

市政記者クラブ 様

東山総合公園
担当 動物園 佐橋、黒邊
電話 782-2111

スマトラオランウータンの「ネオ」が死亡しました

昨日（令和6年3月14日）、東山動植物園で飼育展示していたスマトラオランウータンの「ネオ」が死亡しましたので、下記の通りお知らせします。

記

1 死亡したスマトラオランウータン

- ・愛称：ネオ
- ・性別：メス
- ・年齢：54歳（1970年3月5日東山動植物園生まれ）
- ・大きさ：体重 54.1 kg 頭胴長 82 cm（死亡時）

2 死因

腫瘍に起因する多臓器不全

3 死亡までの経緯

令和5年8月頃から歯の痛みに起因した採食量の低下がみられたため、抗生剤や痛み止めによる治療を開始しました。10月には歯のぐらつきが酷くなっていることが確認されたため、10月23日に麻酔下で抜歯処置を行いました。抜歯に合わせて行った検査では腫瘍の可能性も疑われましたが、詳細な検査のための麻酔はネオにとってリスクが高かったことから、積極的な治療は見合わせていました。その後体調が悪化したため、令和6年2月15日より展示を中止し療養に専念しておりました。

4 エピソード

1970年3月5日に誕生しました。東山動植物園で初めてのスマトラオランウータンの繁殖でした。母親が初産ということもあり、人の介添え哺育で育ちました。頑固で自己主張の強い反面、几帳面でペットボトルの蓋を自ら指で開けて飲んだり、器用にフィーダーから採食したり、賢いオランウータンでした。東山動植物園で生まれた動物の中で、54年間という歴史上もっとも長く飼育され、どの職員よりも長い間、東山動植物園に在籍していました。落ち着いた雰囲気が高く、ファンの多い個体でした。

5 献花台

3月16日（土）から3月24日（日）まで本園スマトラオランウータン舎屋内観覧エリアにおいて献花台を設置します。

【参考】

■東山動植物園のスマトラオランウータンの飼育

ネオの死亡により、東山動植物園ではスマトラオランウータンの飼育展示は中断となります。

■スマトラオランウータンの国内飼育頭数（令和6年3月14日現在）

4園 8頭（オス4頭、メス4頭）

■スマトラオランウータンについて

霊長目ヒト科に分類され、インドネシア共和国のスマトラ島に生息する。大きさはオスで頭胴長1m、体重60～90kg程度、メスでは頭胴長80cm、体重40～50kg程度であり、全身は赤褐色の長い毛で覆われている。ボルネオオランウータンとは外見上よく似ているが、種が異なる。熱帯雨林に生息し、ほとんどは単独で樹上生活している。野生での生息数は13,500頭ほどで、近年、木材輸出のための樹木伐採やアブラヤシのプランテーション化により生息地が減少し、絶滅の危機に瀕している。ワシントン条約附属書I表、IUCNレッドリストにおいてCR（深刻な危機）に分類される。

■写 真 ※動画を含めデータが必要な場合はご連絡ください



在りし日のネオ（令和5年7月18日撮影）